

評価結果の公表

施策名 未来を見据えた土地利用の推進による良好な都市空間の形成

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	まちの健康
政策	快適で便利な都市空間が整うまち
施策	未来を見据えた土地利用の推進による良好な都市空間の形成
主管部局	都市整備部
主管課	都市政策課
関係課	都市政策課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	宅地や産業地などの都市的土地利用と農地などの自然的土地利用との調和がとれた良好な土地利用が図られ、誰もが快適で健やかな生活を送ることができる都市空間が形成されています。
----	--

3 令和5年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 5決算	R 6予算
(1)人件費	15,443	0
(2)事業費	24,574	41,791
フルコスト（歳出合計）	40,017	41,791
歳入（お金の出所）	R 5決算	R 6予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	3,297	650
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	400	325
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	0	0
(5)一般財源（市税収入など）	20,877	40,816
歳入合計	24,574	41,791

4 「まちの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「身近な地域で生活しやすいまちの形成に満足している」市民の割合										単位	%	
											現状値	52.2	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	53.0	53.0	54.5	54.5	56.0	56.0	57.5	57.5	59.0	59.0	60.0		
実績値	56.5	56.5	57.9	57.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査の「身近な地域で生活しやすいまちの形成」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	土地区画整理事業の実施や地区計画制度の活用などにより、良好な市街地形成を図っています。												

有効性指標 2

指標名	総人口に占める市街化区域内の人口割合										単位	%	
											現状値	83.7	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	83.8	83.9	84.0	84.2	84.3	84.4	84.5	84.6	84.8	84.9	85.0		
実績値	84.2	84.2	84.4	84.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市街化区域内人口(人)/総人口(人)×100												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	総人口に占める市街化区域内の人口割合は、緩やかに上昇傾向にあります。本市の総人口は緩やかに増加しており、その増加分について、市街化区域に誘導できています。												

評価結果の公表

施策名 未来を見据えた土地利用の推進による良好な都市空間の形成

有効性指標 3

指標名	地区特性に応じたまちづくり計画（地区計画）の事業面積（累計）										単位	ha
											現状値	166.6
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	207.1	207.1	220.1	238.1	238.1	238.1	238.1	238.1	238.1	238.1	238.1	
実績値	207.9	212.7	225.5	225.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	地区計画の都市計画決定面積の累計値											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	令和5年度は新たに都市計画決定を行った地区計画はありませんが、令和4年度までに都市計画決定を行った各地区の地区計画制度を運用し、良好な市街地の形成を図っています。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
都市計画推進事業	都市政策課	40,368 (40,368)	指標名	都市計画の決定及び変更件数累計			妥当性	A
			単年度計画値	15.0			有効性	A
			単年度実績値	17.0			効率性	A
			単年度達成率	113.3%				
			最終目標に対する達成率	77.3%				
事務事業の方向性								
A：拡大 本市にもいづれ訪れる人口減少期に対応すべく、鉄道沿線集約型の都市構造（住居系）や広域的交通体系活用型の都市構造（産業系）を目指します。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
都市景観推進事業	都市政策課	3,282 (3,282)	指標名	都市景観形成に関する検討委員会開催回数			妥当性	B
			単年度計画値	1.0			有効性	A
			単年度実績値	2.0				
			単年度達成率	200.0%			効率性	B
			最終目標に対する達成率	200.0%				
事務事業の方向性								
B：現状のまま継続 「大府市景観計画」に掲げる景観形成施策の継続的な実施により、「歩きながら五感で感じる四季・彩・時の景観づくり」を推進します。								

6 施策の事後評価

現状認識（施策をとりまく状況の変化や課題等）	市街化区域において、大府共和西特定土地区画整理事業を始め、多くの民間資本を活用した住宅開発が促進されるとともに、大府横根平子地区計画を定め、居住、産業、自然環境などのバランスのとれた土地利用を推進しています。また、令和4年度末には、集約型都市構造としての都市機能の集積を図ることに加えて、居住区域を設定・誘導し、公共交通での連携を図り、利便性の高いまちづくりを推進するため、立地適正化計画を策定し、令和5年度から、立地適正化計画に基づく届出制度を運用しています。
施策の推進に向けた今後の方針	長草杵口下地区及び共和駅周辺地区において、用途地域の見直しや地区計画制度を活用し計画的な土地利用を推進します。 長草杵口下地区については、都市計画手続に向けて、令和8年3月の市街化編入を目標に令和6年度から具体的な関係機関協議を行います。 共和駅周辺地区については、引き続き関係機関との協議・調整を行うとともに、令和6年12月の用途地域の変更を目標に都市計画手続を行います。

評価結果の公表

施策名 未来につながる良好な居住空間の形成

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	まちの健康
政策	快適で便利な都市空間が整うまち
施策	未来につながる良好な居住空間の形成
主管部局	都市整備部
主管課	都市政策課
関係課	都市政策課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	土地区画整理事業や民間開発の適切な誘導などにより、魅力があり誰もが住みたくなる、良好な居住空間が形成されています。
----	---

3 令和5年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 5決算	R 6予算
(1)人件費	42,158	0
(2)事業費	427,563	375,668
フルコスト（歳出合計）	469,721	375,668
歳入（お金の出所）	R 5決算	R 6予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	105,353	101,735
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	24	0
(3)市債（市の借金）	178,000	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	36,636	0
(5)一般財源（市税収入など）	107,550	273,933
歳入合計	427,563	375,668

4 「まちの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「快適な住環境の整備に満足している」市民の割合										単位	%	
											現状値	44.9	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	45.0	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	55.0		
実績値	50.1	50.1	51.6	51.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査の「快適な住環境の整備」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	「大府市開発等事業の手続及び基準等に関する条例」や法令に基づき、民間開発の適切な指導を行っています。												

有効性指標 2

指標名	北山地区・横根平子地区の土地区画整理事業の整備率										単位	%	
											現状値	8.1	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	27.7	47.2	70.1	88.1	95.9	98.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
実績値	23.8	38.1	52.1	56.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	執行済事業費/総事業費×100												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	北山地区・横根平子地区の土地区画整理事業において、令和5年度の整備率は、他事業や関連する他工事の遅延、地元調整等の結果により事業に遅れが生じたため、計画値を下回りました。両地区とも事業計画どおりの完了に向けて、組合とのより一層の情報共有に努め、適切な指導を行う必要があります。												

評価結果の公表

施策名 未来につながる良好な居住空間の形成

有効性指標 3

指標名											単位	
											現状値	0.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価												

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
土地区画整理事業	都市政策課	375,604 (375,604)	指標名	北山地区・横根平子地区の土地区画整理事業の整備率			妥当性	B
			単年度計画値	88.1			有効性	A
			単年度実績値	56.3				
			単年度達成率	63.9%				
			最終目標に対する達成率	56.3%			効率性	B
事務事業の方向性								
B：現状のまま継続 名古屋市に隣接し、大都市近郊として住宅開発、工業化、都市化が進み、公共施設の整備及び宅地の利用増進が求められてきています。円滑で健全な組合運営がなされ、事業計画に定めるとおり事業が進捗するよう、引き続き組合への指導及び補助金の交付を行い、良好な市街地の形成を図ります。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
宅地開発指導事業	都市政策課	23,274 (23,274)	指標名	開発等事業の手續件数			妥当性	A
			単年度計画値	30.0			有効性	A
			単年度実績値	33.0				
			単年度達成率	110.0%				
			最終目標に対する達成率	110.0%			効率性	A
事務事業の方向性								
B：現状のまま継続 宅地開発等は経済状況に左右される部分も多くあるため数値を読むことが困難ではありますが、比較的安定的に件数が推移しています。また、状況の変化に応じて基準等の見直しの必要性について検討します。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
市営住宅管理・整備事業	建設総務課	119,445 (119,445)	指標名	入居募集戸数			妥当性	B
			単年度計画値	10.0			有効性	B
			単年度実績値	13.0				
			単年度達成率	130.0%				
			最終目標に対する達成率	130.0%			効率性	B
事務事業の方向性								
B：現状のまま継続 引き続き市営住宅を適正に管理し、計画値を目標に入居募集を行い、長寿命化を図るよう保全に関する工事や修繕を行っていきます。								

評価結果の公表

施策名 未来につながる良好な居住空間の形成

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	建築物がスクラップアンドビルドで更新される時代から、長期にわたり良好な状態で利用環境に配慮した建築物が建築される時代になりつつあります。また、市街地形成においては、良好な住環境の整備が求められています。
施策の推進 に向けた 今後の方針	宅地開発指導事業に関しては、大府市開発等事業の手續及び基準等に関する条例や法令に基づき、適切な指導・助言を行っていきます。 土地区画整理事業については、円滑で健全な組合運営がなされ、事業計画に定めるとおり事業が進捗するよう、引き続き組合への指導及び補助金の交付を行い、良好な市街地の形成を図ります。

評価結果の公表

施策名 人と車が共存できる安心・安全な移動空間の形成

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	まちの健康
政策	快適で便利な都市空間が整うまち
施策	人と車が共存できる安心・安全な移動空間の形成
主管部局	都市整備部
主管課	道路整備課
関係課	道路整備課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	計画的な道路や歩道の整備、点検、補修をすることで、人と車が共存する道路空間が構築され、誰もが安心して移動でき、人や物の交流が活発化し、市全体が活力あるまちになっています。
----	---

3 令和5年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 5決算	R 6予算
(1)人件費	93,671	0
(2)事業費	849,842	1,156,554
フルコスト（歳出合計）	943,513	1,156,554
歳入（お金の出所）	R 5決算	R 6予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	142,858	247,231
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	20,000	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	114,216	6,120
(5)一般財源（市税収入など）	572,768	903,203
歳入合計	849,842	1,156,554

4 「まちの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	都市計画道路整備率										単位	%		
											現状値	67.3		
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12			
計画値	69.1	69.1	70.1	71.8	72.9	73.6	73.6	73.6	73.6	73.6	73.6	76.0		
実績値	68.6	68.6	69.6	69.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	(都市計画道路の整備済延長／都市計画道路の計画延長) × 100													
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	整備率は変更がなく目標を達成することができませんでした。今後も計画的に都市計画道路の整備を推進する必要があります。													

有効性指標 2

指標名	「歩行者の安全な移動空間の整備に満足している」市民の割合										単位	%	
											現状値	26.1	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	28.0	28.0	30.5	30.5	33.0	33.0	35.5	35.5	38.0	38.0	40.0		
実績値	28.0	28.0	29.8	29.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査の「歩行者の安全な移動空間の整備」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合（最終目標値-現状値）÷11年間=単年度計画値												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	引き続き、誰もが安心して移動できる「歩行者の安全な移動空間の整備」を推進する必要があります。												

評価結果の公表

施策名 人と車が共存できる安心・安全な移動空間の形成

有効性指標 3

指標名											単位	
											現状値	0.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価												

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
幹線道路整備事業	道路整備課	64,878 (64,878)	指標名	幹線道路の整備済延長の割合			妥当性	A
			単年度計画値	37.0			有効性	A
			単年度実績値	26.8				
			単年度達成率	72.4%				
			最終目標に対する達成率	26.8%			効率性	A
事務事業の方向性								
B：現状のまま継続 国の交付金の有効活用などにより、計画的かつ継続的に道路整備を推進することで、交通の円滑化を図り、歩行者等の安心安全を確保します。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
補助幹線道路改良事業	道路整備課	64,094 (64,094)	指標名	補助幹線道路の改良済延長の割合			妥当性	A
			単年度計画値	40.2			有効性	A
			単年度実績値	32.3				
			単年度達成率	80.3%				
			最終目標に対する達成率	32.3%			効率性	A
事務事業の方向性								
B：現状のまま継続 幹線道路の整備状況等を踏まえ、効率的で効果的な道路整備を推進します。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
道路維持事業	道路整備課	407,959 (407,959)	指標名	要望等処理件数			妥当性	A
			単年度計画値	2,000.0			有効性	A
			単年度実績値	2,225.0				
			単年度達成率	111.2%				
			最終目標に対する達成率	111.2%			効率性	B
事務事業の方向性								
B：現状のまま継続 今後も道路や橋梁等の老朽化に対応するため、適切に点検や巡視、修繕を進めるとともに、長寿命化を図っていきます。 また、労務費や資材価格の上昇によるコスト増大への対応が求められています。								

評価結果の公表

施策名 人と車が共存できる安心・安全な移動空間の形成

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
財産取得事業	建設総務課	10,301 (10,301)	指標名	寄附採納	妥当性	A
			単年度計画値	10.0	有効性	A
			単年度実績値	13.0		
			単年度達成率	130.0%	効率性	A
			最終目標に 対する達成率	-		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 近年、道路内民地が生じた経緯を知る地権者が減少し、相続による新しい地権者との用地交渉が困難とな っています。今後、道路内民地が生じた経緯について、丁寧な説明を行い、土地所有者の理解協力を得て 、市民が安全で安心して通行できる道路の整備を進めます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
財産管理事業	建設総務課	804,979 (804,979)	指標名	道路占用・使用許可、承認工事	妥当性	A
			単年度計画値	970.0	有効性	A
			単年度実績値	1,000.0		
			単年度達成率	103.1%	効率性	A
			最終目標に 対する達成率	-		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 宅地需要の増加に伴い、宅内排水の道路側溝への接続等のため道路掘削工事が増加することで、工事に伴 う交通渋滞や道路の損傷が懸念されます。これらの原因である道路の掘返しを抑制するため、業者間の調 整を密に図ることを指導します。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	県、市事業とも用地買収及び工事に着手していますが、事業を推進するに当たり、関係者の理解と協力を 得ることが必要です。
施策の推進 に向けた 今後の方針	県、市事業とも道路等の供用開始に向けて計画的に事業を推進します。

評価結果の公表

施策名 緑花、親水施設の整備による潤いある都市空間の創出

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	まちの健康
政策	快適で便利な都市空間が整うまち
施策	緑花、親水施設の整備による潤いある都市空間の創出
主管部局	水と緑の部
主管課	水緑公園課
関係課	水緑公園課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	市民と行政が一体となり、公園や緑地、緑道などの水と緑の空間創出とため池、農地、樹林地などの自然と景観の保全が行われ、市民の憩いの空間が整備されたまちになっています。
----	--

3 令和5年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 5決算	R 6予算
(1)人件費	41,484	0
(2)事業費	725,576	528,067
フルコスト（歳出合計）	767,060	528,067
歳入（お金の出所）	R 5決算	R 6予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	15,000	15,000
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	46,703	42,000
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	20,875	0
(5)一般財源（市税収入など）	642,998	471,067
歳入合計	725,576	528,067

4 「まちの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	都市公園などの面積										単位	ha
											現状値	96.6
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	98.9	98.9	99.1	99.3	99.6	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
実績値	98.9	98.9	98.9	98.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	基準日（3月31日）時点の都市公園などの整備済面積											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	矢戸川緑地を含め整備完了に伴い都市公園の面積を精査し、事業実施段階で実績値に重複があったため実績値を修正しています。 横根平子土地区画整理事業の事業進捗に伴い、横根平子1号公園の整備を延期しています。											

有効性指標 2

指標名	緑道延長										単位	m
											現状値	18,695.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	20,045.0	20,045.0	20,415.0	20,490.0	20,565.0	20,640.0	20,715.0	20,790.0	20,860.0	20,930.0	21,000.0	
実績値	19,991.0	20,404.0	20,404.0	20,781.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	基準日（3月31日）時点の緑道整備済延長											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	繰り越した工事（L=377m）が完了したため、実績値が計画値を上回っています。											

評価結果の公表

施策名 緑花、親水施設の整備による潤いある都市空間の創出

有効性指標 3

指標名	「水辺や緑と親しめる空間の整備に満足している」市民の割合										単位	%
											現状値	49.4
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	51.0	51.0	53.0	53.0	55.0	55.0	57.0	57.0	58.5	58.5	60.0	
実績値	54.0	54.0	55.3	55.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	市民意識調査の「水辺や緑と親しめる空間の整備」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	最新の市民意識調査（令和4年度実施）では、目標値を達成しています。公園や緑道の新規整備や適切な維持管理を行い、サクラ、ツツジの植栽等を行ったことで、「水辺や緑と親しめる空間の整備に満足している」市民の満足度が前回調査より向上したと思われます。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
緑化推進事業	水緑公園課	23,903 (23,903)	指標名	緑地面積		妥当性	A	
			単年度計画値	61,182.0		有効性	A	
			単年度実績値	61,182.0		効率性	A	
			単年度達成率	100.0%				
			最終目標に対する達成率	79.6%				
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 今後も市民のニーズを的確に捉え、事業に反映します。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
二ツ池セレトナ運営事業	水緑公園課	33,723 (33,723)	指標名	二ツ池セレトナ入場者数		妥当性	A	
			単年度計画値	25,000.0		有効性	A	
			単年度実績値	37,743.0		効率性	A	
			単年度達成率	151.0%				
			最終目標に対する達成率	151.0%				
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 令和7年度に二ツ池セレトナ指定管理者の更新を行います。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
緑道整備事業	水緑公園課	22,308 (22,308)	指標名	緑道延長		妥当性	A	
			単年度計画値	20,490.0		有効性	A	
			単年度実績値	20,781.0		効率性	A	
			単年度達成率	101.4%				
			最終目標に対する達成率	99.0%				
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 緑道の連続性を保つため、引き続きコースや工法を工夫する必要があります。								

評価結果の公表

施策名 緑花、親水施設の整備による潤いある都市空間の創出

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
公園整備事業	水緑公園課	48,933 (48,933)	指標名	都市公園面積	妥当性	A
			単年度計画値	99.3	有効性	A
			単年度実績値	98.9		
			単年度達成率	99.6%	効率性	A
			最終目標に 対する達成率	98.9%		
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 今後も市民のニーズを的確に捉え、事業に反映します。						
公園等施設管理事業	水緑公園課	339,208 (339,208)	指標名	公園管理面積	妥当性	A
			単年度計画値	99.1	有効性	A
			単年度実績値	98.9		
			単年度達成率	99.8%	効率性	A
			最終目標に 対する達成率	98.9%		
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 今後も市民のニーズを的確に捉え、事業に反映します。						
市民緑化推進事業	水緑公園課	13,221 (13,221)	指標名	民有地緑化制度を活用した植栽本数	妥当性	A
			単年度計画値	2,000.0	有効性	A
			単年度実績値	4,187.0		
			単年度達成率	209.4%	効率性	A
			最終目標に 対する達成率	209.4%		
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 提案型緑花推進事業について、上級団体が自立できるよう改善する必要があります。						
緑花維持管理事業	水緑公園課	189,250 (189,250)	指標名	竹林の保全箇所数	妥当性	A
			単年度計画値	1.0	有効性	A
			単年度実績値	1.0		
			単年度達成率	100.0%	効率性	A
			最終目標に 対する達成率	100.0%		
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 環境や防災など多面的な要素を持つ緑地等について、市民と協働で行う方法を検討する必要があります。						

評価結果の公表

施策名 緑花、親水施設の整備による潤いある都市空間の創出

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	都市の緑は、グリーンインフラとして環境面・社会面・経済面など多岐に渡って良い影響を与えます。その緑が持つ多機能性を発揮させ、社会的課題の解決に寄与することが期待されています。
施策の推進 に向けた 今後の方針	令和2年9月に策定した「大府市緑の基本計画」に基づき、市民の憩いの空間を整備できる施策を実施していきます。

評価結果の公表

施策名 下水の適正処理による快適な生活空間の創出

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	まちの健康
政策	快適で便利な都市空間が整うまち
施策	下水の適正処理による快適な生活空間の創出
主管部局	水と緑の部
主管課	水道工務課
関係課	水道工務課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	下水道施設の長寿命化と耐震化が図られ、持続可能な施設の維持管理と災害時の被害の軽減を実現しています。また、中長期的な視点に立った下水道事業の経営の健全化が図られ、下水の適正処理による快適な生活空間が創出されています。
----	--

3 令和5年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 5決算	R 6予算
(1)人件費	0	0
(2)事業費	0	0
フルコスト（歳出合計）	0	0
歳入（お金の出所）	R 5決算	R 6予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	0	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	0	0
(5)一般財源（市税収入など）	0	0
歳入合計	0	0

4 「まちの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「下水道処理などによる水路や川などの水質保全に満足している」市民の割合										単位	%	
											現状値	41.9	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	45.0	45.0	48.0	48.0	51.0	51.0	54.0	54.0	57.0	57.0	60.0		
実績値	46.6	46.6	46.8	46.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査の「下水道処理などによる水路や川などの水質保全」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	下水道の普及により、水路や河川の水質は改善されてきていますが、目標値は達成できていません。市街化区域を中心とした汚水整備は、おおむね完了しているため、更なる水質保全に向け、水洗化率を向上させる必要があります。												

有効性指標 2

指標名	水洗化率										単位	%	
											現状値	93.5	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	93.9	94.1	94.3	94.5	94.2	94.4	94.6	94.8	95.0	95.2	95.4		
実績値	93.7	93.8	94.0	94.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	水洗便所設置済人口/下水道処理区域内人口×100												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	水洗化人口は増加しましたが、水洗化率は昨年度と同数値となり、目標値は達成できませんでした。水洗化率向上に向け、継続的に普及啓発等を行うことが必要です。												

評価結果の公表

施策名 下水の適正処理による快適な生活空間の創出

有効性指標 3

指標名	経費回収率										単位	%
											現状値	64.6
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	70.0	73.0	76.0	79.0	66.0	75.0	76.0	77.0	78.0	79.0	80.0	
実績値	59.1	56.8	61.4	64.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	下水道使用料/汚水処理費（公費負担分を除く）×100											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	経費回収率は64.9%で100%を下回っており、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入により賄われている状況です。数値は毎年改善傾向にありますが、引き続き、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減により、健全経営に努める必要があります。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
汚水整備事業	水道工務課	0 (0)	指標名	汚水整備実施済面積	妥当性	A
			単年度計画値	1,296.7	有効性	A
			単年度実績値	1,308.5		
			単年度達成率	100.9%		
			最終目標に対する達成率	98.8%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 市街化区域の整備はおおむね完了していますが、他事業に関連する場合や、新たに下水道需要が発生した場合等に対応するため事業を継続していきます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
汚水管渠等維持管理事業	水道工務課	0 (0)	指標名	汚水維持管理面積	妥当性	A
			単年度計画値	1,296.7	有効性	A
			単年度実績値	1,308.5		
			単年度達成率	100.9%		
			最終目標に対する達成率	98.8%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 市街化区域の整備はおおむね完了しており、汚水管渠等を良好な状態で流れるように保つために、日頃から維持管理を適切に行っていきます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
下水道経営事業	水道経営課	0 (0)	指標名	一般会計からの繰入金（他会計負担金、他会計補助金等）	妥当性	A
			単年度計画値	1,262.0	有効性	A
			単年度実績値	980.0		
			単年度達成率	77.7%		
			最終目標に対する達成率	-	効率性	B
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 本市の人口は緩やかに増加する見込みですが、節水意識の向上に伴う平均有収水量の減少により、下水道使用料は将来的に減少する見込みです。将来にわたって安定的に事業を継続するため、施設・設備及び管路等の更新のバランスを考慮しながら、収支の均衡を図り、引き続き経営の効率化に努めます。						

評価結果の公表

施策名 下水の適正処理による快適な生活空間の創出

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	市街化区域を中心とした汚水整備は、おおむね完了しています。今後、老朽化が進行する下水道施設を継続的に使用できるよう、適切に維持管理をしていく必要があります。 令和4年10月の下水道使用料の改定により、経営状況は改善傾向にありますが、依然として一般会計からの繰入金に依存している状況です。
施策の推進 に向けた 今後の方針	水路や川などの水質保全のため、継続的に個別訪問等を実施し、水洗化率の向上に努めます。また、快適な生活空間を維持するために、今後、老朽化が進行しいく施設を計画的に改築・修繕することで、適切な維持管理に努めます。 令和7年度の下水道使用料2段階目の改定とあわせて、投資の平準化や企業債借入額の適正化等により、経営の健全化を図ります。

評価結果の公表

施策名 安全な水の安定供給

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	まちの健康
政策	快適で便利な都市空間が整うまち
施策	安全な水の安定供給
主管部局	水と緑の部
主管課	水道経営課
関係課	水道経営課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	水道施設の適切な維持管理と計画的な更新により、災害に備えるとともに、健全な経営基盤を維持し、安全な水を安定的に供給しています。
----	---

3 令和5年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 5決算	R 6予算
(1)人件費	0	0
(2)事業費	0	0
フルコスト（歳出合計）	0	0
歳入（お金の出所）	R 5決算	R 6予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	0	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	0	0
(5)一般財源（市税収入など）	0	0
歳入合計	0	0

4 「まちの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「水の安定供給に満足している」市民の割合										単位	%
											現状値	73.4
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	75.0	75.0	77.0	77.0	79.0	79.0	81.0	81.0	83.0	83.0	85.0	
実績値	80.0	80.0	74.3	74.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	市民意識調査の「水の安定供給」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	目標は達成できませんでしたが、満足度は高い水準を維持しています。引き続き、安心して安全な水を安定して供給できるように努めます。											

有効性指標 2

指標名	経常収支比率（水道事業会計）										単位	%（以上）
											現状値	127.5
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
実績値	125.6	122.8	118.6	116.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	経常収益/経常費用×100											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	健全経営の水準とされる目標値100%を上回っており、経営状況は良好です。引き続き、経営基盤の強化を図るとともに、健全経営に努めます。											

評価結果の公表

施策名 安全な水の安定供給

有効性指標 3

指標名	管路健全度										単位	%
											現状値	90.6
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	92.0	93.0	93.5	94.0	94.5	95.0	95.5	96.0	96.5	97.0	98.0	
実績値	90.7	90.9	90.9	90.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	管種ごとに設定した更新基準年数以内の管路延長/管路延長×100（但し、管路延長は口径50ミリ以上）											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	第5次大府市総合計画時に基幹管路や重要給水施設へ給水する水道管の耐震化についてはおおむね完了しましたが、年々老朽管の延長が増加する中で他占有者との関連工事の中止や延期などにより、繰越しや施工延長の減工などもあり、管路健全度の実績値は計画値に達していません。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
経営基盤の充実事業	水道経営課	0 (0)	指標名	水道料金の調定件数	妥当性	A
			単年度計画値	211,663.0	有効性	A
			単年度実績値	204,536.0		
			単年度達成率	96.6%		
			最終目標に対する達成率	90.1%	効率性	B
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 本市の人口は緩やかに増加する見込みですが、給水量は、節水機器の更なる普及による生活用水の減少や大口使用者の地下水利用等の影響により、将来的に減少する見込みです。一方、県水道料金値上げによる受水費の増などにより、事業運営費用は増加する見込みです。そのため、将来的な料金改定も視野に入れながら、収支の均衡を図り、安定した経営を行う必要があります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
水道事業補助事業	法務財政課	310,094 (310,094)	指標名	補助金額	妥当性	A
			単年度計画値	333,000.0	有効性	A
			単年度実績値	309,582.0		
			単年度達成率	93.0%		
			最終目標に対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 今後も一般会計からの支援を必要とする場合は、水道事業の経営状況を踏まえ、必要性を検討したうえで支援を実施します。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
配水施設の整備事業	水道工務課	0 (0)	指標名	施設の健全度割合	妥当性	A
			単年度計画値	100.0	有効性	A
			単年度実績値	100.0		
			単年度達成率	100.0%		
			最終目標に対する達成率	100.0%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 今後も継続する方針です。今後も計画に沿った更新を実施します。						

評価結果の公表
 施策名 安全な水の安定供給

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
管路施設の整備事業	水道工務課	0 (0)	指標名	新設配水管布設延長	妥当性	A
			単年度計画値	100.0	有効性	A
			単年度実績値	906.8		
			単年度達成率	906.8%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	-		
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 今後は老朽化した管路の増加が見込まれますが、継続的に更新を行い健全な管路を維持していきます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
配給水管理事業	水道工務課	0 (0)	指標名	有収率	妥当性	A
			単年度計画値	97.0	有効性	A
			単年度実績値	96.1		
			単年度達成率	99.1%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	99.1%		
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 有収率が若干計画値を下回りましたが、今後計画的に老朽管の更新を継続して実施していくことで、計画値の保持に努めます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
水の有効利用推進事業	水道工務課	0 (0)	指標名	情報提供（市公式ウェブサイト）	妥当性	A
			単年度計画値	12.0	有効性	A
			単年度実績値	12.0		
			単年度達成率	100.0%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	9.1%		
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 新型コロナウイルスの影響が少なくなったため、開催可能なイベント等を通して今後もPRを継続していきます。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策をとりまく状況の変化や課題等)	経営状況は良好であり、健全経営を維持しています。事業の経営面では、近年、節水機器の普及等により、給水収益は減少傾向にあります。また、県営水道料金の改定により、今後、受水費の増加が見込まれます。配水施設の更新は計画通り進んでいますが、今後は人件費や物価高騰により現計画以上に多額の費用が必要になることが予想されます。
施策の推進に向けた今後の方針	「大府市水道ビジョン2030」及び「大府市水道事業経営戦略」に基づき、水道施設の適切な維持管理と計画的な更新により、災害に備えるとともに、健全な経営基盤を維持し、安心・安全な水を安定的に供給していきます。配水施設の更新設計については、新技術の導入や施設の簡素化により随時見直し、コスト削減を図っていきます。